



金子中だより

令和4年6月3日 第3号
入間市立金子中学校 校長 今泉大二郎



3年生 修学旅行

5/21(土)～23(月)の2泊3日で京都・奈良方面への修学旅行を実施しました。天候にも恵まれ、予想していたほどの混雑もなく、また、大きな事故や体調不良者も出ず、楽しい旅行となりました。

新型コロナウイルス感染拡大にともない、入間市ではこの2年間、修学旅行の時期を秋に変更して実施しましたが、今回は計画通りに実施することができました。この2年間でやむを得ず修学旅行を中止もしくは日帰り等で実施した学校や自治体が多い中、入間市は昭和から脈々と続く修学旅行の歴史を途切れさせることなく実施することができています。これも市長様をはじめとする

入間市教委等、行政の理解、支援があってこそのことだと思えます。今回もコロナ関連について多大な支援をいただく中での実施でした。修学旅行の成功の裏にはこのような陰のサポートがあったことを忘れてはならないと思えます。ありがとうございます。

さて、修学旅行では生徒の主体的、体験的な活動が多く見られたように思います。行程のほぼすべてが

班行動ということで、旅行そのものが主体的であるとともに、2日目夜のクラスの会(写真下2枚)では、それぞれのクラスが、その日にあった出来事、出会った人のこと、思い出の1コマを面白おかしく発表していました。その光景はとても温かくほのぼのとしていました。また、生徒には、奈良や京都の人にインタビューをするというミッションが課せられており、短い時間ではありますが現地の人も交流が図られていました。我々あるいは保護者の皆さまの修学旅行を思い返すと、バスガイドさんの旗のもと列をなして見学地を回ったり、部屋はクラスごと男女別各一部屋(大部屋)、夜は就寝後も騒いでいて先生に怒られ廊下で正座というようなイメージがあるかと思いますが(まあそれはそれで楽しい思い出となったわけですが)、修学旅行も随分変わったなあという印象です。

ICT技術が進歩し、我々は仮想空間で様々な疑似体験をすることが可能な世の中になりました。コロナ禍において、バーチャルの世界で国内や世界旅行を疑似体験するようなツアーも現れました。もちろんそれも素晴らしいことであり、今後必要になってくることでしょう。ただ旅行に関してはやはり実体験に勝るものはないように思います。旅立つ前の集会での鹿山教諭の話が印象に残っています。詳しくはお子様にお聞きください。



1・2年生 校外学習 (5/25)

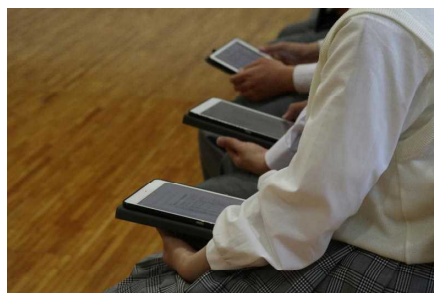
2年生の校外学習は奥多摩の大自然の中で、プチアドベンチャーゲームに挑みました。コースに用意されたチェックポイントを巡り、班で協力しながら出題される課題をクリアし、時間内にゴールを目指すというものです。知力、体力、判断力、協調性、コミュニケーション能力等、様々な力が要求される活動です。生徒たちは新緑の奥多摩を肌で感じ、仲間の良さを再発見しながら絆を深めていました。

結果発表後には、一部の生徒によるスタuntsの披露がありました。普段の学校生活ではなかなか見ることのできない生徒の一面を見ることができました。先生方も日ごろ見せない姿を披露し、生徒にとってはサプライズだったのではないのでしょうか。

1年生は加治丘陵を舞台に、ウォークラリーに挑戦し、キャンプファイヤーでクラスや学年の絆を深めました。班で協力し、道に迷いながらもゴールした時の達成感は格別だったことでしょう。中学校に入学して2ヶ月が過ぎました。中学校生活にも慣れ、学習やさまざまな活動に意欲的に取り組んでいる生徒も多いことでしょう。今後も充実した活動を期待しています。



生徒総会



5/27(金)に生徒総会を実施しました。SDGsを意識し、議案書は印刷せず、タブレットにダウンロードし、生徒はタブレットを手に参加しました。総会に至るまでの準備が修学旅行や校外学習の準備と重なり、特に3年生は大変だったと思いますが、滞りなく議事は進行しました。中学校は民主主義の基礎を学ぶ場でもあります。近年、若者の政治離れが進み、若年層の投票率の低下が気になります。「自分が1票を投じたところで何も変わらない」と考える大人が減り、政治への関心を高めるためにも生徒総会は大きな意味があると思います。満18歳での選挙権、18歳での成人、今まで以上に義務教育段階での主権者教育の重要性が増しています。今後も社会情勢との結びつきを意識した教育を進めてまいります。

資源回収

5/28(土)・29(日)に小学校と合同で資源回収を実施いたしました。大変暑い中、ご協力いただきましてPTA役員の皆様、保護者、地域の皆様、大変ありがとうございました。11月にもございますので、またよろしく願いいたします。